

事務事業名	収入票の計算・日計表との照合事務				担当	会計管理者 会計課 出納係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	1	市民本位の窓口サービスの向上				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 単年度繰返（開始年度 S29 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 会計管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	指定金融機関、収納代理機関、会計課窓口に納められた納付書を指定金融機関が一括整理し、出納日計表とともに翌日に会計課へ提出する。提出された納付書を会計別、項目別に分類集計する。その集計別に収入票を作成し、出納日計表と照合する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 指定金融機関からの納付書を会計別、項目別に分類集計する。集計別に収入票を作成し、出納日計表と照合する。（真岡市出納額報告書） 30年度計画 29年度と同様			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)	
			ア	納付された納付書の項目別納付書数	件	242,502	249,449	252,815	249,589	250,000
			イ	収入表の作成数	件	4,320	4,482	4,554	4,662	4,700
			ウ							
			エ							
			オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 収められた納付書			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)	
			ア	収められた納付書数	件	242,502	242,449	252,815	249,589	250,000
			イ							
			ウ							
			エ							
			オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 収入状況を把握する			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)	
			ア	収入状況が把握できた割合	%	100	100	100	100	100
			イ							
			ウ							
			エ							
			オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 正確な歳入管理			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)	
			ア	歳入が正確に管理された割合	%	100	100	100	100	100
			イ							
			ウ							
			エ							
			オ							
(2) 総事業費の推移			単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0	0	0		
		事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	480	480	480	560	550		
		人件費計（B）	千円	2,026	2,011	1,993	2,324	2,283		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,026	2,011	1,993	2,324	2,283		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。			1日に納付された収入を照合するため							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										